

～わくわく農場体験～

能代西高校の生徒達でつくる『NPO法人アグリファームのしろ』が10月27日、同校で「わくわく農場体験」を開きました。「アグリファームのしろ」は、地域住民との交流や地域貢献活動などに柔軟に展開することを目的に平成24年8月に設立され、今回の農場体験は6回目の開催となります。

この日は地域住民ら約30人が参加しました。開会式では、NPO法人代表である生物資源系列の藤田龍矢さんが「農場体験も今年で6回目



↑多くの花が栽培されている温室

などの花を栽培している温室や牛やポニーを飼育している畜舎の紹介などが行われました。袋詰め体験や施設見学の後は、「西高産」の新米あきたこまちやネギ、比内地鶏などを使用しただまこ鍋作りも行われ、参加した地域住民は能代西高校ならではのイベントを楽しんでいました。

の開催となります。この活動を通して食育普及、園芸普及につながればと考えています。今日は能代西高で農を楽しみ、農に親しんでいってください」とあいさつしました。

この日は、あいにくの雨でネギの収穫体験はできなかったものの、前日に収穫したネギの袋詰め体験をしました。参加者らは、袋がいっぱいになるほどネギを詰め、満足している様子でした。その後、シクラメンなどの



↑畜舎見学の様子

～高等学校産業教育フェアで 優秀賞を受賞～

10月26日に秋田市で開かれた秋田県高等学校産業教育フェアの体験発表部門に水田・果樹専攻の3年生4人が出場しました。

『安全・安心「あきたe c o らいす」作りに向けて』と題した発表では、能代西高の水田における収量のばらつきの原因が「土壌の養分バランスに問題があるのではないか?」という仮説を立て、土壌の状態を調べ、土壌診断の結果をまとめ、考察した内容について発表をしました。審査の結果、見事優秀賞を受賞しました。

今後は東京オリンピックを目指す秋田県の選手に西高産のお米を提供しサポートをすることを目標に、今後も安全・安心なお米づくりの研究を進めていきます。

